

市民意見について

■目標等

※改定検討委員会資料の抜粋版となります

内容
『循環・めぐりによるまちづくり』の理念は削除すべきではない。まちづくりの理念と目標が希薄化している
理念を具体化する施策が必要である
理念の説明文が抽象的である
「みんなが主役のまちづくり」という理念は良いと思う
将来都市像を3つに分けたことにより、それぞれ独立した軸として捉えられてしまっている

■都市構造

内容
水と緑の軸を第一に考えてほしい
「水と緑の活動拠点」、「水と緑の保全ゾーン」、「水と緑との共生ゾーン」の違いがわかりにくい
駅前集中ではなく市全体で各拠点と調和したネットワークの構築が必要ではないか

■市民参画

内容
重要施策の一つ一つに市民参加が必要である
理念の説明文の「協力」は「協働」とした方が適切ではないか
市民参画を促進していくことが必要である
協働のまちづくりを具体化してほしい

■分野別

(1) 土地利用

内容
緑と農地、住宅が調和したまちと農業の利便性の高い土地利用をお願いしたい
分野別方針の構成について、分野別としてしまうと、例えば土地利用では、自然環境の維持・保全は、市街化調整区域内の問題に矮小化されてしまっている。「自然と調和した計画的な土地利用の誘導」や「都市的土地利用の方向転換」という社会情勢に応じた方針の記載を望む
滝山団地及び周辺地域の再開発を検討してほしい
空き地には重加算税を適用し、しない場合は市に譲渡させるのはどうか
用途地域の見直しや建蔽率・容積率の引き上げを行うべき
都市計画道路沿いに店舗等立地誘導を促進すべき
駅周辺に焦点が偏り、地域の平等性が無いのではないか
人口減少に合わせ、ニーズや最適な駅前が変化しているのではないか

内容
駅周辺の動線の誘導が必要である
北口の活力が飲食店の撤退とともに失われている
駅東西の分断を解消してほしい
大型施設の誘致により雇用促進や経済活性化につながるのではないか
特色のある東久留米を目指しそれを中心とした都心開発を推進してほしい
特徴ある商業空間の誘導が必要である（うち駅周辺2件、南沢湧水群周辺1件）

（2）交通

内容
市内を貫通分断する交通軸のイメージは通過交通を促進させてしまわないか。
生活道路における通過交通に対してどのように対応するのか
都市計画道路の早期整備を望む（主に都市計画道路東3・4・13、東3・4・21号線）
自然に配慮した都市計画道路の整備が必要である （主に都市計画道路東3・4・12、東3・4・18、東3・4・21号線）
都市計画道路の見直しが必要である （主に都市計画道路東3・4・12、東3・4・13、東3・4・18、東3・4・21号線）
道路の拡幅をしてほしい （主に浅間町、所沢街道、小山地区の生活道路、駅への道路、笠松坂付近、河川沿いの遊歩道）
一方通行の導入により、抜け道機能を遮断し同時に歩行者・自転車レーンを確保することや、スピードが出にくい道路設計などのようなより有効な強い対策が検討できないか
学園町地域への車の流入、流出の交通形態がうまく機能していない
駅周辺の生活道路をどのように活用できるか
移動を円滑化する道路・環境の整備を望む
私道の補修対策に力点を置くべき
歩道の整備・改良を進めてほしい
生活道路の整備水準が低いので、特に力を入れてほしい
ウォーカブルなまちづくりに賛成である
緑が多いにも関わらず中心地へ行く道にベンチなど休む場所が少ない
所沢街道の危険性にも考慮しているが、実際どう実現するのか
通学路の整備をしてほしい（安全な歩道、横断歩道付近）
通学路での交通安全対策をしてほしい
通学路の遮熱性舗装を優先すべき
安全な自転車走行空間の確保を望む
信号の整備をしてほしい
交通ルールの適切な管理・運用をすべき
小金井街道の渋滞対策が無い

内容
連続立体交差事業を促進してほしい
連続立体交差事業の促進に合わせた駅周辺の活性化を推進してほしい
東久留米駅に急行列車が停車するようにしてほしい
高齢化対策を考えると、公共交通機関の利用は欠かせない。
公共交通を充実させてほしい
デマンド型交通やコミュニティバスは不要。タクシー配車サービス等への補助で充分である

(3) 水と緑

内容
水と緑を第一に掲げた計画づくりを行うべき
水と緑の保全の具体的な方針が明記されていない
自然環境を保全するべき
緑の連続性や良好な自然景観を形成するためには、現況を保持していくことが最優先されることにより可能になる
自然環境に関することなどは行政関係部署との連携が必要ではないのか
市民協働での自然環境の保全が必要である
これまでの市民協働による自然環境の保全の取組を明記すべき
市民ボランティアの努力をぜひ評価してほしい
自然教育、保全に関する人材育成など、小学校も巻き込んで東久留米市ならではの教育につなげてほしい
住民参加による団地内の緑地・花壇の維持保全が効果的ではないか
落合川沿いの宅地開発を規制すべき
民地における植栽の適切な管理を市で指導してほしい
住宅地における緑地の管理が大変である
駅前がもう少し緑を感じられると良い。
意識の醸成の仕方として、家庭園芸の普及にも力を入れてはどうか
親水空間の整備・活用を進めてほしい
親水空間は安全性を考える必要があるのではないか
自然の川の流れを活かす整備が必要である
河川沿いの雑草が生い茂り市民の憩いの場にはなっていない
河川の水質改善に一層力を入れてほしい
水循環機能は「維持」ではなく「改善」ではないのか
河川流量を確保する具体的な施策は何か
「東京別世界 東久留米」の持続についての具体的検討と提案について、現実的な成立基盤についての説明が必要である
生態系を保全してほしい

内容
河川のゴミ対策をしてほしい
公園の整備
白山公園などの再整備
公園緑地の管理の質の向上
公園の利用マナーの改善
ボール遊びできる公園が少ない
六仙公園の整備拡充・活用を望む
市民ニーズに応じた六仙公園の活用が必要である
農地の保全が必要である
畑に縁のなかった人でも農業に関われる仕組みがあるとよい
コミュニティ農園を運営してほしい
農業体験等の交流の場として農地を活用することに賛成である
農業や観光分野と福祉分野を連携してほしい
農業と共生したまちづくりに賛成である
農地の維持や、生産者のサポート、緑地等の周辺環境の維持保全が必要である

(4) 活力

内容
活力創出拠点に関する実情をきちんと把握したビジョンが必要である
高齢化により無くなっていく地域の活力の維持に力を注いでほしい
水と緑以外は周辺市と比べ魅力が低く、すべて中途半端である
民間活力を活用すべき
公的住宅団地の建て替えの時機に民間活力を活用すべき
商業地域、工業地域を大幅に増やすべき
商店街の活性化が必要である
氷川台の商業機能を充実してほしい
企業誘致と雇用確保の促進をすべき
工場用地の生産環境よりも技術や商品の特徴あるものとして育成することから始めるべきではないか
小規模商店の復興支援が必要である
駅周辺に空き店舗が多く残念である
経済的な視点（実現のためのコストなど）が無い
農業の活性化が必要である
農地の維持や、生産者のサポート、緑地等の周辺環境の維持保全が必要である
都市農業のあり方・仕組みの構築が必要である
農産物の市場がほしい。
都市農産物を活用してPRすべき

内容
農業従事者との連携が必要である
大学・専門学校の誘致を望む。地域活性化の主役として、農業専門学校の設置を望む
外国人労働者の権利を保証した持続可能な産業政策の具体化を求める
サテライトオフィスの整備を望む
地域の特長を活かしたまちづくりを望む
東久留米にしかない自慢できる何かがほしい
東久留米市の認知度・イメージの向上に対する取組が必要である
景観を財産と捉えどのようにシティセールスに繋げるのか
自然環境・地域資源の活用が必要である
自然・地域資源を活かしたPRが必要である
地域産業会館を建設し、特色ある地域のPRの拠点にする場所がほしい
子どもたちにはぜひこの土地の歴史も含め個性的な魅力を伝えていってほしい
市内の貴重な文化を継承する手立てを考えたい
文化面で他の市と比較して淋しい
村野家住宅の保全について市民へのアピールが必要なのではないか
六仙公園の駐車場・駐輪場の整備を望む
水と緑の拠点における駐車場の整備を望む
星空を活かしたイベントを実施してほしい
観光課を設置してほしい
公共サービスとしてフリーWi-Fiスポットの設置を望む
自転車レンタルシェアリングシステム等の早期実現を望む
「歩行系ネットワーク」をつなぐだけでなく、そこで来訪者にお金を使ってもらおう工夫が必要ではないのか
拠点の活性化（駅周辺、市役所、滝山団地周辺）
特に駅東口の発展を望む
滝山団地周辺を一大住宅拠点として商業地域を形成する時が来ると思う。そのために、行政がいかに民間活力を引き出すかが課題である
駅西口のクリスマスイルミネーションの改善が必要である
わざわざ駅を降りようと思えるような駅周辺地域の整備を積極的にお願いしたい
事業者だけでなく従業者にも考慮すべき
住民が参画意識を自覚するような施策も良い街づくりを実現する上で重要である
自助、共助、公助のためのコミュニティ形成に向けた行政の課題改善を望む
北西部地域は他の地域よりも遅れを取っているように思える。地域コミュニティが連携した地域組織づくりの強化を望む
旧住宅を整備し、新しいコミュニティの創設をしてほしい
新しいコミュニティ創出は最優先で取り組むべき

内容
多様な世代の方が意見を伝えあえるような場があるとよい
住民同士の交流の場が必要である
集会所などの交流拠点の整備を望む
コミュニティ施設は多くあった方がよい
サークル活動のための会場を増設してほしい
北西部地域には、コミュニティ形成を図る場所がない
旧下里小学校跡地は早期に地域住民に使用できる形を検討してほしい
ゴミ収集所を活用した週末市を開催すれば活気が出るのではないか

(5) 安全・安心

内容
安心は心の問題であり、統計や規制値等から安全を理解させる科学教育が必要
防災上、都市機能を集積することに問題はないのか
立川断層帯からの被害想定を早急に作成すべき
水害への認識が低い
U字溝などのつまりを解消してほしい
黒目川へ排水した場合の環境への影響調査をしてほしい
ブロック塀は通学路以外も撤去してほしい
無電柱化を推進してほしい
建造物の耐震構造の対策をはじめとした地域別の防災力の向上を望む
五小の老朽化や教室不足への対応を検討すべき
首都直下地震などの際に都市住民が来る可能性が高いが、それについての言及がない
発災時の自治体の対応や連絡手段、アクセス方法などが具体的に市民に周知されている必要がある
指定緊急避難場所を住民に徹底周知させる表示看板の設置などを行うのはどうか
「災害時活動困難度が最も高いランクに位置付けられている」ことがハザードマップ等で示されていない
富士山噴火、首都直下地震、気候変動の中での予測と対策等についての言及も必要ではないか
防災無線が聞こえづらい
六仙公園を「防災機能を併せ持つ公園」とするためには、自衛隊等の救援車両の通行を考慮した周辺道路環境の整備も必要ではないか
DX活用、スマートシティ早期実現による防災・減災を推進すべき
災害時備蓄品のチラシ、飲料水、携帯トイレなどの配布をしたらよいのではないか
湧水を災害用水資源としての活用など、より身近なところで実用化できればよい
高齢者だけでなく、子どもや障害者など様々な立場の人の意見を反映させて防災に取り組んでほしい
地域別に防災力を高めていく必要がある
公助による防災まちづくりの取組を望む

内容
狹隘道路の拡幅など災害時活動に関わる整備を行い、地域の自助・共助体制を確立することが優先である
自治会の高齢化により共助体制の構築に不安がある
自治会と連携して防災体制の強化を図るべき
防犯対策が脆弱である
空き家に関する防犯対策の強化が必要である
どのように防犯意識を啓発していくのか
警察の見回り・パトロール強化を望む
地域住民によるパトロールはやりすぎ感がある。
市内への警察署の設置が必要である
防犯カメラ、監視カメラ増設の早期実施を望む
防犯灯は照度だけでなく色も考慮すべき
暗い道に街路灯を増やしてほしい

(6) 生活環境

内容
地域別構想に滝山団地における更新に関する記述がない
滝山団地の賃貸部分について、URと市との協力で再開発計画を立てることなどは可能ではないか
古い中高層住宅の整備を最優先で進めるべき
子供から高齢者まで安心して暮らすことのできる計画を望む
西部地域に包括支援センターを増設してほしい
高齢化に伴う対策の改善を早急に実践してほしい
高齢者支援の充実を望む
特養施設等の充実を望む
高齢者の活躍の場の拡大が必要である
老人だけに特化しないコミュニティ施設の運営をお願いしたい
子育て環境の充実を真剣に考える必要がある
都心から当市に特に子育て世代を呼び込むことはできないか。「子育てに優しい街」という視点も追加してほしい
中央町、八幡町2・3丁目、前沢1・2丁目には学校が多くあるのにも関わらず、子どもへのサポートについて書かれてない
子供の安全確保が急務である
既得権益層以外にも焦点を当てた「多様性」であるべき
公共施設等の整備・誘導に関して、聴覚障害者に配慮した情報提供が圧倒的に足りていない
静かな住環境を守り続けてほしい
宅地開発等の際には自然に配慮してほしい

内容
急激な宅地化の進行などの現状認識が計画に反映されているのか
「管理不全の空家等の解消に向けた取組」は何をやるのか
空き家をどのように活用するのか
浅間町の生活利便性が悪い
暮らしやすく市民が集えるという視点で、公共施設や民間施設について工夫してほしい
光化学スモッグ注意報などの放送が聞こえにくいので、スマホなどに情報を送信してほしい
行政サービスの電子化やマイナンバーカード等の活用とデジタル社会に向けた市民のスキルアップを望む
「安全で住み続けたいまち」とあるが、医療・病院はどうなるか
図書館の充実・整備を望む
上の原地区センターの設立を要望する
文化的なニーズに合わせた公共施設をもっとつくってほしい
野外スポーツ施設の充実を図ってほしい。滝山球場、白山球場の内容の充実を望む
コンパクトに施設を集約し、無駄なハコモノを造らないでほしい
公共施設は近隣市と連携したマネジメントが必要ではないか
車椅子でもアクセスしやすい公園や公共施設の整備を望む
浅間町地区センターのバリアフリー化を望む
歩道やバス停のバリアフリー化を望む
団地の大規模改修時にエレベーターを設置することにより、高齢者にも子育て世帯にも住みやすくしてほしい
上下水道やガスなどのインフラの維持が重要である
黒目川や落合川において生活排水の垂れ流し箇所見受けられるため、改善を望む
東久留米駅西口のブラックジャック像はライトアップした方が景観が良くなるのではないか
富士見テラスの環境改善を望む
脱炭素化は避けて通れない
現行計画 P.69 の「(3) 騒音・大気汚染などを防ぐ」にあたる項目が無い
生活道路への通過交通の流入により住環境が悪化している
シンポジウム等の開催を通じて全国に認識される環境都市を目指してほしい
グリーン・ニューディール政策の考え方を導入すべき
自立分散型のエネルギーシステム導入に関する記述を追加してほしい
小水力発電など、六仙公園の自然エネルギーを活用できないか
地球温暖化対策を検討すべき
脱炭素化に向けた市の具体的な計画を示してほしい
脱炭素化に向け、休耕地を利用した太陽光発電が可能ではないか
ゴミ出しのマナー改善のための対策をしてほしい
燃えないゴミや粗大ごみなど、個人で直接搬入できるシステムを作してほしい

■その他

内容
「新しい生活様式」を今後の大きな方向性とすることに反対である
SDGs の達成に寄与することが重要なテーマとなる
利便性を追求する都市化から離れた方がよい
「市民憲章を活かしたまちづくり」と入れられないか
都市計画マスタープランを作成しただけでは実効性が確保できないので、その計画を実施し、監視し、改善する PDCA サイクルを検討してほしい
広く市民の理解が得られていない「Society5.0」の推進に反対である
すべての分野に SDGs の 4（質の良い教育を）、5（ジェンダー平等を実現しよう）、10（人や国の不平等をなくそう）が入っていない
部署間や近隣市との情報共有の強化が必要である
計画の周知に力を入れてほしい
遊び心のある市の公式 Twitter などがあると面白い
せっかく発信しても、具体性を欠いたりデザインがひどいと台無しになる

■地域別の主な意見

1. 北東部

- 駅東西の分断を解消してほしい
- 道路の拡幅をしてほしい

2. 南東部

- 公共交通を充実させてほしい
- 道路の拡幅をしてほしい
- 防犯カメラ、監視カメラ増設の早期実施を望む

3. 駅周辺

- 安全な自転車走行空間の確保を望む
- 連続立体交差事業を促進してほしい
- 駅東西の分断を解消してほしい
- 特徴ある商業空間の誘導が必要である

4. 北部

- 都市計画道路の早期整備を望む
- 都市計画道路の見直しが必要である
- 道路の拡幅をしてほしい
- 歩道の整備・改良を進めてほしい
- 公共交通を充実させてほしい
- 親水空間の整備・活用を進めてほしい
- 水と緑の保全の具体的な方針が明記されていない

5. 中央部

- 都市計画道路の見直しが必要である
- 公共交通を充実させてほしい

6. 南部

- 自然に配慮した都市計画道路の整備が必要である
- 歩道の整備・改良を進めてほしい
- 河川の水質改善に一層力を入れてほしい

7. 西部

- 公共交通を充実させてほしい
- 歩道の整備・改良を進めてほしい
- 安全な自転車走行空間の確保を望む

- 民間活力を活用すべき
- 商店街の活性化が必要である

8. 北西部

- 都市計画道路の早期整備を望む
- 自然環境を保全すべき